

方針2：吉野ヶ里の歴史的な風土を活かす

(1) 地場産品

地場の産品を使った地域イメージづくり (吉野ヶ里ブランドづくり)

地域の産品を使った地域イメージづくりは地域をわかりやすく印象づける有効な手段です。

(2) 歴史・文化資産等

歴史・文化資産等の連携による 観光の新たな魅力づくり (歴史・文化資産等を巡るルートづくり)

歴史・文化資産等を年代や人物などの一定の「テーマ」に沿ってルートづくりを行い、連携を図ることで、より一層の魅力ある観光資源となります。

(3) お祭り・伝統行事

お祭りや伝統行事を活かした 人々の交流づくり

風土を守るためには、お祭りや伝統行事を継承、観光資源や人々の交流の場として活用していくことが大切です。



■神埼そうめん
(写真：神埼市観光パンフレットより)



■ジャンボニンニク(吉野ガーリック)
(写真：吉野ヶ里町資料より)



■高柳大塚古墳(たかやなぎおおつかこふん)
(みきや町観光パンフレットより)



■船石遺跡(ふないしいせき)
(上峰町史跡パンフレットより)



■太神楽(だいかぐら)
(神埼市)
(神埼市観光パンフレットより)



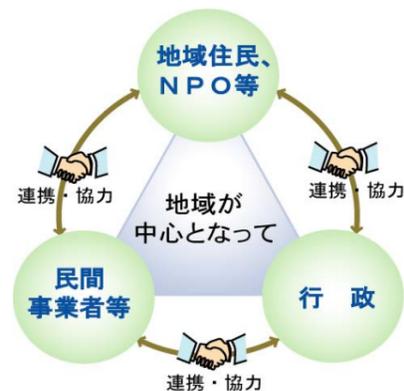
■米多浮立(めたふりゅう)
(上峰町)
(上峰町米多浮立パンフレットより)

方針3：地域が一体となって吉野ヶ里の風土が感じられる

地域づくりを推進する

地域づくりは、地域の人達みんなが進めていくものと考えます。

そのためにも、「共通の目標を持つ」、「情報を共有する」、「みんなで議論する」、「世代を渡って継続する」ことが重要です。



■問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 国営吉野ヶ里歴史公園事務所 調査・品質確保課
〒842-0035 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手 1869 TEL (0952)53-3902 (代) FAX (0952)53-3910

*この冊子は、吉野ヶ里歴史的景観形成検討委員会の成果を基に作成しました。委員の方々は以下の通りです。
養茂寿太郎(熊本県立大学理事長)、高島忠平(佐賀女子短期大学理事長・学長)、重松敏則(九州大学大学院芸術工学研究院環境計画部門教授)、三島伸雄(佐賀大学理工学部都市工学科准教授)、田中正文((社)佐賀県観光連盟誘致推進課長)、寺崎宗俊(佐賀新聞取締役編集主幹)、佐賀県、神埼市、吉野ヶ里町

吉野ヶ里の歴史的な風土が感じられる 地域づくりに向けて(案)

よしのがり
吉野ヶ里周辺には、吉野ヶ里遺跡をはじめとした多くの歴史的な資産が残っています。また、脊振山地を背景に広々とした農地や集落、これらを取り巻く緑の丘陵地等が見られるとともに、農耕に係わりの深いお祭りや伝統行事等も数多く残っています。このように豊かな自然と、歴史と伝統を反映した人々が生活により、吉野ヶ里の歴史的な風土がつけられています。

この冊子は、歴史的な風土が感じられる地域づくりに向けて、みんなの共通の目標となるものを検討したものです。

国営吉野ヶ里歴史公園

